進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：２０２２年　１０月　１７日
● 事　業　名　：　障害児等の体験格差解消事業
● 資金分配団体　：　公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
● 実 行 団 体　：　株式会社ＦＥＥＬ

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
対象者が、水辺の自然体験に参加できる状態となる。	①水辺の自然体験に参加した対象となる子供たちの数 ②水辺の自然体験を見学した対象となる子どもたちの数 ③水辺の自然体験に参加・見学した対象となる子どもたちの満足度 ④水辺の自然体験に協力したスタッフやボランティア数"	①地域全体で 200 人（初期値から 5 倍） ②地域全体で 100 人（初期値から 5 倍） ③満足度調査（エンドライン調査を行い初期状態と比較する） ④地域全体で 40 人（初期値から 5 倍）	①②③④ 2023 年 2 月	① 65 名（事業開始から合計 390 名） ② 10 名未満 ③ 調査中 ④ 60 名（事業開始から合計 238 名）	1

対象者の保護者が、水辺の自然体験についてその有効性を認識している状態となる。	①水辺の自然体験を見学した保護者の数 ②水辺の自然体験を見学した保護者の満足度	①地域全体で 250 人（初期値から 10 倍） ②満足度調査（エンドライン調査を行い初期状態と比較する）	①② 2023 年 2 月	① 70 名（事業開始から合計 216 名）	2
地域児童福祉事業所や児童福祉施設、児童養護施設や児童家庭支援センターの職員が、水辺の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	①水辺の自然体験を見学した職員の数 ②水辺の自然体験を見学した職員の満足度	①地域全体で 50 人（初期値から 5 倍） ②満足度調査（エンドライン調査を初期状態と比較する）	①② 2023 年 2 月	① 75 名	2
特別支援学校や分教室、諸団体等が、水辺の自然体験に連携・協力・支援する状態となる。	①連携・協力・支援する学校・団体等の数 ②水辺の自然体験推進団体以外で連携・協力・支援する学校・団体等の数 ③水辺の自然体験を見学した学校・団体等の数	①地域全体で4つの学校や団体（初期値の 4 倍） ②地域全体で3つの学校や団体（初期値の 3 倍） ③地域全体で3つの学校や団体（初期値の 3 倍）	①②③ 2023 年 2 月	① 4 団体との連携体制を構築済み ② 3 団体との連携体制を構築済み ② 3 団体	1
弊社と関係諸団体、関係諸団体同士のネットワークが深まる。	①弊社や関係諸団体と定期的なコミュニケーションがある団体の数 ②地域の連携協力団体等と協議する会議等の回数 ③関係諸団体の情報共有をする運営協議会の回数	①5 団体 ②2 回 ③年 2 回の開催	①②③ 2023 年 2 月	①現状 4 団体であるが、今後増加が見込まれる ②3 回開催した。 ③今年 1 回開催した。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
・水辺の活動を中心に考えていたが、通年での活動となってきている。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 新聞に掲載をされた。 テレビは、市政番組での情報の発信、ラジオも定期的に情報発信をした。 2.広報制作物等 施設の広報紙に掲載した。 3.報告書等 特になし。 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 今後検討していく。

添付資料